

～大阪で住みよさランキング1位の箕面を散策しませんか！～

箕面の歴史は縄文時代にさかのぼり、3千～6千年前の土器と石器が瀬川・稲(いな)・新稲(にいな)の各地で見つかっています。また弥生時代の石包丁や住居跡が箕面地域から、銅鐸(どうたく)が如意谷地域からみつかっています。紀元前後～3世紀には米作りが行われ、人々が定住し、村が出来ていました。



郷土資料館(箕面駅近く)



瀧安寺(箕面滝手前)

瀧安寺(箕面滝の途中に有り)は平安時代の658年、役小角が箕面滝の下に堂を建設、本尊の弁財天像を安置し箕面寺と命名、空海・日蓮・蓮如が修行したとされ、後醍醐天皇が隠岐に島流しになった際に現在の瀧安寺となりました。

箕面と言えば『箕面滝』です。以前と違って猿が出没することは殆どなく、箕面駅～滝までの往復4kmは自然豊かで空気がおいしくウォーキングコースとして最適です。紅葉だけでなく、散策しているとオオサンショウウオ・ヘラジカ・オオルリ・カワセミ・アオバズク等の多種多様な生物に出会うチャンスがあります。



箕面滝



箕面駅から東へ徒歩10分)

春には南北に延びる市道オケ原線と箕面駅へ続く東西の道(桜通り)は道の両脇に桜並木が続き、満開の桜が道路を覆い、桜のトンネルができます。この桜並木は『大阪みどりの百選』に指定されています。自然豊かな箕面をウォーキング・ハイキングを兼ねて、弁当持参で散策、心身共にリフレッシュしましょう！

箕面1地区委員 平門正享 (記)